



平成 29 年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会 プログラム

開催日：2018 年 2 月 20 日（火）～ 21 日（水）

場 所：京都大学宇治キャンパス（宇治市五ヶ庄）

JR 奈良線黄檗駅から徒歩約 5 分 京阪宇治線黄檗駅から徒歩約 6 分

Website：<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/hapyo/18/index.html>

※各発表の要旨 PDF が掲載されています。

入場無料



2 月 20 日（火）

所長挨拶	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：30～9：40
プロジェクト報告	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：40～10：55
災害調査報告	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	11：10～12：30

※9：30～12：30 Ustream 配信します。 配信サイト：<http://www.ustream.tv/channel/dpri>

一般講演		13：30～18：15
ポスターセッション	ハイブリッドスペース（宇治おうばくプラザ）	9：30～18：15

2 月 21 日（水）

一般講演		9：00～12：00
ポスターセッション・コアタイム	ハイブリッドスペース（宇治おうばくプラザ）	12：00～14：00
一般講演・オーガナイズドセッション		14：00～17：15
ポスターセッション	ハイブリッドスペース（宇治おうばくプラザ）	9：00～15：00
優秀発表賞授賞式・懇親会	宇治生協会館	18：00～20：00

一般講演・オーガナイズドセッション会場

	A 会場 きはだホール (宇治おうばくプラザ)	B 会場 セミナー室 1+2 (宇治おうばくプラザ)	C 会場 セミナー室 4+5 (宇治おうばくプラザ)	D 会場 S-143H (宇治地区研究所本館)	E 会場 S-519D (宇治地区研究所本館)
20 日（火） 13：30～18：15	九州北部豪雨 P.3	地震・火山（Ⅰ） P.7	大気・水（Ⅱ） P.10	地盤（Ⅰ） P.13	総合防災（Ⅰ） P.15
	大気・水（Ⅰ） P.4				
21 日（水） 午前 9：00～12：00	地震・火山（Ⅱ） P.5	大気・水（Ⅲ） P.8	大気・水（Ⅳ） P.11	地盤（Ⅱ） P.14	総合防災（Ⅱ） P.16
21 日（水） 午後 14：00～17：15	オーガナイズド セッション 〈拠点間連携共同研究〉 P.6	大気・水（Ⅴ） P.9	大気・水（Ⅵ） P.12	/	地震・火山（Ⅲ） P.17

※会場案内図は 23 ページをご覧ください。

プロジェクト報告・災害調査報告 2月20日(火) 9:30 ~ 12:30	きはだホール
--	--------

9:30 所長挨拶 防災研究所長 中川 一	〈災害調査報告〉 11:10 ~ 12:30 11:10 2017年九州北部豪雨による斜面災害の 特徴 千木良雅弘
〈プロジェクト報告〉 9:40 ~ 10:55 9:40 グローバル生存基盤展開ユニットの研究 活動報告 松浦純生	11:30 2017年九州北部豪雨による水・土砂・ 流木の氾濫 角 哲也
10:05 火山噴出物の放出に伴う災害の軽減に関 する総合的研究 井口正人	11:50 2017年ハリケーン Irma・Maria による カリブ海被害調査 森 信人
10:30 津波避難訓練支援アプリ「逃げトレ」の 開発と社会実装 矢守克也	12:10 2017年9月にメキシコで続発した地震 (M8.1, M7.1) 西村卓也

<休 憩>

<p>一般講演……九州北部豪雨 2月20日(火) 13:30～15:00</p>	<p>A会場 きはだホール</p>
--	-----------------------

- 13:30 A01
平成29年九州北部豪雨の高分解能数値シミュレーション
竹見哲也
- 13:45 A02*
融解層高度以上の降水粒子の同化による線状降水帯の予測及び支配スケールの解析
山口弘誠・堀池洋祐・中北英一
- 14:00 A03
2017年九州北部豪雨災害を対象にしたMMSによる浸水痕跡調査と降雨流出氾濫解析
○佐山敬洋・松本紘治・桑野裕士・寶馨
- 14:15 A04
朝倉市赤谷川流域を対象とした平成29年九州北部豪雨における斜面崩壊と洪水の統合解析
○山野井一輝・鈴木豪太・藤田正治
- 14:30 A05
寺内ダムの流木捕捉量の把握と下流河道の洪水被害軽減効果の評価
○角哲也・鈴木湧久・小木曾友輔・小林草平・竹門康弘・Sameh KANTOUSH
- 14:45 A06
災害時における住民行動の時系列分析を通じた災害情報のあり方に関する考察
○竹之内健介・加納靖之・矢守克也

A会場

20日午後

B会場

C会場

D会場

E会場

ポスターセッション

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>A 会場 20 日 午後</p>	<p>一般講演……大気・水（I） 2月20日（火）15:15～18:15</p>	<p>A 会場 きはだホール</p>
<p>B 会場</p>	<p>15:15 A07 ゲリラ豪雨・梅雨期豪雨の発生頻度の将来変化へ大気安定化・水蒸気浸潤が及ぼす影響 ○中北英一・橋本郷志・森元啓太郎・小坂田ゆかり</p>	<p>16:45 A12 波浪の長期変動特性と気候変動指数の関係 森信人</p>
<p>C 会場</p>	<p>15:30 A08* 領域気候モデルとd4PDFを用いた梅雨豪雨の将来変化に関するマルチスケール解析 中北英一・○小坂田ゆかり</p> <p>15:45 A09* マルチ解像度 RCM におけるゲリラ豪雨の再現特性の解析及び生起頻度の将来変化推定 中北英一・○森元啓太郎・野坂真也</p>	<p>17:00 A13 A High-resolution Wave Climate Projection for the Coastal Northwestern Atlantic ○Adrean WEBB・Nobuhito MORI・Tomoya SHIMURA</p> <p>17:15 A14* Wave Climate Assessment in the Indian Ocean ○Bahareh KAMRANZAD・Nobuhito MORI</p>
<p>D 会場</p>	<p>16:00 A10* 気候変動が我が国の水文循環に及ぼす影響の不確実性評価 - MRI-AGCM3.2S SST アンサンブルの活用 - ○正木隆大・田中賢治・田中茂信</p> <p>16:15 A11* 人為的な流量調整の影響を考慮した将来気候下での河川流況の評価と適応策の検討 ○鈴木俊亮・野原大督・佐藤嘉展・堀智晴</p>	<p>17:30 A15* 台風の最発達強度に着目したバイアス補正手法の開発と解適合格子モデルを用いた高潮の将来変化予測 ○山本耀介・森信人・Marc KJERLAND</p> <p>17:45 A16* 台風の最大潜在強度を用いた北西太平洋における高潮偏差の将来変化の確率予測 ○有吉望・森信人</p>
<p>E 会場</p>	<p>< 休 憩 ></p>	<p>18:00 A17 日本周辺の高解像度長期波浪推算と波候スペクトルの解析 ○志村智也・森信人</p>
<p>ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン</p>		

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>一般講演……地震・火山(Ⅱ) 2月21日(水) 9:00 ~ 12:00</p>	<p>A 会場 きはだホール</p>
---	------------------------

<p>9:00 A18* 中層実験建物の地震応答解析とそれを考慮した居住ユニットの振動特性把握のための振動台実験 ○浜辺亮太・松島信一・大塚善史</p> <p>9:15 A19 本震記録のみによる建物動特性の振幅依存性の評価 池田芳樹</p> <p>9:30 A20 Steel Braces with Intentional Eccentricity Treated by Induction Hardening ○Konstantinos A. SKALOMENOS・Hironari SHIMADA・Masahiro KURATA</p> <p>9:45 A21* Minimal-Disturbance Arm Damper Retrofitting: Evaluation of Retrofit Effect Using Multi-Span Steel Frame Specimens ○Giuseppe A. MARZANO・Lei ZHANG・Yuga SASAKI・Masahiro KURATA</p> <p>10:00 A22* Development of Fully Prefabricated Steel-UHPC Composite Deck System ○Kailai DENG・Kangkang WANG・Canhui ZHAO・Bing CUI</p> <p>10:15 A23* 巨大地震発生前のスロー地震活動の空間的広がり ○片上智史・伊藤喜宏・太田和晃</p>	<p>10:45 A24* 関係データ解析手法の適用による球体の効果を加味したGNSS速度場データの解析 ○高橋温志・岡崎智久・竹内孝・岩田具治・深畑幸俊</p> <p>11:00 A25* 海底圧力計と陸上GNSSのデータに基づく2003年十勝沖地震後のプレート間すべりの推定 ○伊東優治・西村卓也・有吉慶介・松本浩幸</p> <p>11:15 A26* GNSSデータを用いた東海地方スロースリップイベントの解析 ○坂上啓・西村卓也・福田淳一・加藤照之</p> <p>11:30 A27* 近畿地方中北部におけるS波反射面と深部低周波地震の関係 ○加藤慎也・飯尾能久・片尾浩・澤田麻沙代・富阪和秀・三浦勉・米田格</p> <p>11:45 A28 鳥取県中部地震の余震観測 ○飯尾能久・ 京大九大東大地震研鳥取県中部地震余震観測班</p>
---	---

<休憩>

A 会場

21日
午前

B 会場

C 会場

D 会場

E 会場

ポスターセッション

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>A 会場 21 日 午後</p>	<p>オーガナイズドセッション〈拠点間連携共同研究〉 2月21日(水) 14:00～16:45</p>	<p>A 会場 きはだホール</p>
<p>B 会場</p>	<p>〈拠点間連携共同研究〉 14:00 A29 地震動予測地図における確率表現と住民意識—地震発生リスクはどのように認識されているか ○齋藤さやか・関谷直也・田中淳 14:15 A30 被災者の心の復興 ～精神的苦痛の計量及びその時間推移モデルの構築～ ○岡田成幸・中嶋唯貴・有吉一葉・牧紀男・ 瀬瀬一起</p>	<p>15:45 A35 巨大地震による強震動予測のための強震動生成域に対する距離減衰式の適用 ○宮澤理稔・瀬瀬一起 16:00 A36 微動観測記録に基づく横手盆地の速度構造と形状の推定 ○佐藤啓太・松島信一</p>
<p>C 会場</p>	<p>14:30 A31 緊急地震速報と建物モニタリング情報を利用した地震災害誘因の同定—建物頂部変形角の推定— ○和田拓也・新本翔太・倉田真宏・山田真澄・楠浩一・ 柏尚稔・溜瀨功史・池田芳樹</p>	<p>16:15 A37 巨大地震に対する山地斜面の崩壊危険度予測と減災のためのハザードマップ作成 ○齊藤隆志・中屋志津男・中屋志郎・佐藤比呂志 16:30 A38 符号化ソナーによる桜島火山域表層の弾性波伝搬特性の測定 ○棚田嘉博・井口正人・山本圭吾・中道治久・ 森田裕一</p>
<p>D 会場</p>	<p>14:45 A32 水平成層地盤の液状化挙動に及ぼす地盤物性の空間的不均質性の影響 上田恭平 15:00 A33 Evaluation of Amplification Factor Considering Soil Non-Linearity including Liquefaction ○Gautham ADAPA・Kaito SAWADA・ Kyohei UEDA</p>	
<p>E 会場</p>	<p>15:15 A34 海陸地殻変動データを用いた南海トラフ沿いのプレート間カップリングの推定 ○西村卓也・横田裕輔・田所敬一・落唯史</p>	
<p>ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン</p>	<p>< 休 憩 ></p>	

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>一般講演……地震・火山（I） 2月20日（火）13：30～17：45</p>	<p>B会場 セミナー室1+2</p>
---	-------------------------

13：30 B01
桜島火山で発生する火砕流を伴う噴火のメカニズム
○為栗健・井口正人

13：45 B02
2017年8月桜島溶岩噴泉活動に伴う地震活動及び地盤変動
○井口正人・中道治久・為栗健・堀田耕平・園田忠臣

14：00 B03*
2017年の桜島南岳爆発に前後する傾斜ひずみ変化
○堀田耕平・井口正人

14：15 B04
桜島火山における相対重力の連続観測および繰り返し測定
○風間卓仁・山本圭吾・平良真純・大島弘光・前川徳光・岡田和見・園田忠臣・井口正人

14：30 B05*
相対重力および地殻変動データから推定した2015年8月桜島急膨張イベントの圧力源
○栗原剛志・風間卓仁・橋本学・山本圭吾・井口正人

14：45 B06*
相対重力および水準データを用いた1970～1990年代の桜島質量変動モデルの推定
○平良真純・風間卓仁・山本圭吾・福田洋一・井口正人

<休憩>

15：15 B07
桜島における火山活動情報の発信に関する実践的検証
○福島大輔・中道治久・中川和之

15：30 B08
移流拡散モデルを用いた二酸化硫黄放出率の推定
○森健彦・篠原英一郎・菅井明・満永大輔・橋本明弘・山本圭吾

15：45 B09
霧島火山群周辺の表層電気伝導度分布と火山活動
○鍵山恒臣・吉川慎

16：00 B10*
ヤンゴン市における推定地盤構造を考慮した強震動予測の試行
○松下隼人・松島信一

16：15 B11
インド西部カッチ盆地の速度構造モデルの開発
○浅野公之・Prantik MANDAL

<休憩>

16：45 B12
八代平野における地震波反射法探査
○岩田知孝・吉見雅行・浅野公之・岡本茂・末廣匡基

17：00 B13
八代平野における微動水平上下スペクトル比
○松島信一・松下隼人・長嶋史明・池口博樹・増田竣介

17：15 B14*
液状化から考える1586年天正地震の震源断層推定
○山村紀香・加納靖之

17：30 B15*
粘弾性媒質中の断層における地震サイクルシミュレーション手法の開発
○三宅雄紀・野田博之

A会場

B会場

20日午後

C会場

D会場

E会場

ポスターセッション

（注）○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

	<p>一般講演……大気・水(Ⅲ) 2月21日(水) 9:00 ~ 12:00</p>	<p>B会場 セミナー室1+2</p>
A会場	<p>9:00 B16* Numerical Simulation of Track and Landfall of Two Typhoons Chanthu and Lionrock and Their Associated Precipitation over Northern Japan by Using WRF-ARW Model ○Sridhara NAYAK・Tetsuya TAKEMI</p>	<p>10:45 B22* 日本の都市における地表面温度の日変化パターン ○山本雄平・石川裕彦</p>
B会場 21日午前	<p>9:15 B17* 対流圏の温度条件が台風の強度と構造に及ぼす影響 ○山崎聖太・竹見哲也</p>	<p>11:00 B23* Large-eddy simulation を用いた建物高さのばらつきを有する都市キャノピー内の乱流特性の解析 ○吉田敏哉・竹見哲也</p>
C会場	<p>9:30 B18* 低緯度におけるハリケーン強化過程のダウンスケール実験 ○吉岡大秋・榎本剛</p>	<p>11:15 B24 都市気象 LES モデルと境界層レーダーを用いた大気境界層を突破する熱的上昇流の発見 ○山口弘誠・小西大・土橋知紘・中北英一・山本真之・川村誠治・雨谷純・杉谷茂夫・大東忠保・小川まり子</p>
D会場	<p>9:45 B19* 確率台風モデルに基づくハザード適合最尤台風の決定方法 ○団栗直希・西嶋一欽</p>	<p>11:30 B25 夏季積乱雲発達初期の偏波雲レーダー観測 ○大東忠保・中北英一・山口弘誠・坪木和久</p>
E会場	<p>10:00 B20* 復旧時間に基づくレジリエンス評価：タンナ島における風災害後の住宅復旧を事例として ○岸田夏葵・西嶋一欽</p>	<p>11:45 B26* 建物および植物キャノピーを考慮した地上付近の風速場の再現計算 ○泉知宏・丸山敬・玉城磨</p>
ポスターセッション	<p><休憩></p>	

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>一般講演……大気・水 (V) 2月21日(水) 14:00 ~ 17:15</p>	<p>B会場 セミナー室1+2</p>
--	-------------------------

<p>14:00 B27 高知大学 MP レーダーネットワークによる降雨観測精度の検証 ○西井章・佐々浩司</p> <p>14:15 B28* Investigation of Relationship between RDCA Index Using Himawari-8 Data and Radar Estimated Hydrometeor Type Aloft Considering the Stage of Cumulus Cloud ○Wendi HARJUPA・Eiichi NAKAKITA・Yasuhiko SUMIDA・Aritoshi MASUDA</p> <p>14:30 B29* 気流性状解析のための樹木空力パラメータ最適化手法の提案 ○井上龍一・西嶋一欽</p> <p>14:45 B30* パイプメントに作用する旋風による風荷重評価の基礎的検討 ○奥田博貴・西嶋一欽</p> <p>15:00 B31* ドーム建物内における飛散物の動的空力特性の直接計測の試み ○松居健人・丸山敬・西村宏昭・野田博・西嶋一欽</p> <p>15:15 B32* 海大陸西部での寒候期における降水の日変化特性と総観場の関係 ○橋本佳貴・竹見哲也</p>	<p>15:45 B33 台風シミュレーションを用いた免震ダンパーの風応答疲労損傷評価 ○佐藤大樹・西嶋一欽・吉敷祥一</p> <p>16:00 B34 Ranking CMIP5 GCM Historical Runs for Optimum Model Ensemble Estimations over a Regional Scale: A Case Study over Indochina Region ○Rattana CHHIN・Shigeo YODEN</p> <p>16:15 B35 衛星観測から求められた XCO₂ データのバイアスと大気等パラメータの相関について 井口敬雄</p> <p>16:30 B36 2017年3月27日の那須雪崩をもたらした低気圧の予測可能性 吉田聡</p> <p>16:45 B37 冬季成層圏極渦に内在する予測障壁 ○向川均・野口峻佑・黒田友二・水田亮・小寺邦彦</p> <p>17:00 B38 距離基底函数を用いた球面螺旋浅水波モデル 榎本剛</p>
---	--

<休憩>

A会場

B会場

21日午後

C会場

D会場

E会場

ポスターセッション

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

	<p>一般講演……大気・水(Ⅱ) 2月20日(火) 13:30～18:15</p>	<p>C会場 セミナー室4+5</p>
A会場	<p>13:30 C01 * 安治川を想定した流起式可動防波堤の津波減勢効果に関する水理実験 小野秀平</p>	<p>16:00 C10 * 積雪深分布を考慮した融雪型火山泥流解析 ○山口翔大・宮田秀介・堤大三・藤田正治</p>
B会場	<p>13:45 C02 海底および陸上地すべりによる津波とそれによる海底地形変化の推定手法に関する研究 村上嘉謙</p> <p>14:00 C03 * 波源の不確実性を考慮した津波伝播計算 ○宮下卓也・森信人</p>	<p>16:15 C11 * Measuring Effect of Gravel Augmentation Using Radio Frequency Identification (RFID) in Mountainous Areas of the Trinity River, California ○Kanta KANO・David GAEUMAN・Tetsuya SUMI・Yasuhiro TAKEMON</p> <p style="text-align: center;"><休憩></p>
C会場 20日午後	<p>14:15 C04 * 地形アップスケーリングによる市街地粗度パラメタリゼーションを用いた津波遡上モデルの提案 ○福井信気・森信人・Adi PRASETYO</p> <p>14:30 C05 * River Discharge Impact to Downscaling of Coastal Current in the Eastern Japan ○Josko TROSELJ・Nobuhito MORI・Yuki IMAI・Junichi NINOMIYA</p>	<p>16:45 C12 * 階段状河床形態が土石流の流動特性に与える影響 ○越智尊晴・長谷川祐治・竹林洋史・藤田正治</p> <p>17:00 C13 * 湾曲河道を流れる土石流に関する実験的検討 ○乾亮太・竹林洋史・長谷川祐治・藤田正治</p>
D会場	<p>14:45 C06 * Modeling of Wave Damping by Coastal Vegetation ○Che-Wei CHANG・Nobuhito MORI</p> <p style="text-align: center;"><休憩></p>	<p>17:15 C14 * 異なる流量の流れ場におけるバンダル型水制群周辺の河床変動に関する研究 ○橋崎卓・長谷川祐治・張浩・川池健司・中川一</p> <p>17:30 C15 * Three Dimensional flow Characteristics In a Slitted Type Spur Dyke Field ○Shampa・Yuji HASEGAWA・Hajime NAKAGAWA・Hiroshi TAKEBAYASHI・Kenji KAWAIKE</p>
E会場	<p>15:15 C07 * TDR を利用した土砂濃度計測手法の開発 ○内藤秀弥・宮田秀介・水垣滋・藤田正治</p> <p>15:30 C08 * 山体地下水上の不飽和浸透モデリングのためのリチャーズ式解析解 ○菅原快斗・佐山敬洋・寶馨</p>	<p>17:45 C16 * Experimental Study of Groynes as a Bank Erosion Countermeasure in Meandering Channels with Different Sinuosity. ○Saroj KARKI・Yuji HASEGAWA・Hashimoto MASAKAZU・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE</p>
ポスターセッション	<p>15:45 C09 * A Three-dimensional Model of Subsurface Flow in an Unconfined Surface Soil Layer on an Irregular Hillslope ○Ying-Hsin WU・Eiichi NAKAKITA</p>	<p>18:00 C17 Study on Sediment Depository due to Detached Breakwater in Tropical Peat Coast of Bengkalis Island Indonesia ○NOERDIN Basir・Tetsuya HIRAISHI・Hideaki MIZUTANI</p>

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>一般講演……大気・水 (IV) 2月21日(水) 9:00 ~ 12:00</p>	<p>C 会場 セミナー室 4+5</p>
--	---------------------------

<p>9:00 C18 週間アンサンブル水文予報を考慮したダム予備放流操作の影響の分析 齋藤宏樹・○野原大督・堀智晴</p> <p>9:15 C19* ダム貯水池操作高度化のための流入量推定精度向上方法の検討 ○森岡浩然・堀智晴・野原大督</p> <p>9:30 C20* Impact of Lancang Cascade Dams on Flow Regimes, Sediment Dynamics and Morphodynamics of the Mekong Delta of Vietnam ○Doan Van BINH・Sameh KANTOUSH・Tetsuya SUMI・Nguyen Thi Phuong MAI</p> <p>9:45 C21* 伝統的河川工法「聖牛」に関する知見の整理と木津川における試験施工 ○田住真史・角哲也・竹門康弘</p> <p>10:00 C22* 河床表層の鉛直構造の変動を考慮した付着藻類現存量の変動予測 ○宮川幸雄・角哲也・竹門康弘</p> <p>10:15 C23* 天竜川における濁質成分の流程変化に基づく砂州地形の濾過機能推定 ○高橋真司・兵藤誠・谷高弘記・角哲也・竹門康弘</p>	<p>10:45 C24* Flash Droughts in Japan ○Maochuan HU・Kenji TANAKA</p> <p>11:00 C25* 数値作物成長モデルによる灌漑必要水量の推定とダムによる補給操作の高度化 ○宮田悠佑・堀智晴・野原大督</p> <p>11:15 C26* 地下水資源の持続可能性評価に向けた全球陸域水循環モデルの改良 ○塩尻大也・田中賢治・田中茂信</p> <p>11:30 C27* Impact of Water Resources Regulation and Crops Diversification in the Zeravshan River Basin ○Temur KHUJANAZAROV・Kenji TANAKA・Yoshiya TOUGE・Kristina TODERICH</p> <p>11:45 C28 Hydrochronological Approach for Extreme Flash Floods at Wadi Systems in Arid Regions ○Mohamed SABER・Sameh KANTOUSH・Tetsuya SUMI・Mohammed ABDEL-FATTAH・Tahani ALHARRASI・Takahiro KOSHIBA・Yusuke OGISO・Mahmoud ALMAMARY</p>
---	---

<休憩>

A
会場

B
会場

C
会場

21
日
午前

D
会場

E
会場

ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	一般講演……大気・水 (VI) 2月21日(水) 14:00 ~ 17:15	C 会場 セミナー室4+5
B 会場	14:00 C29* Coping with Water Issues in Ungauged Lower Kapuas River Basin Based on Stakeholders' Attitude ○Dewi DIMYATI・Tomoharu HORI	15:45 C35 空間平均降水量極値の特性 田中茂信
C 会場	14:15 C30* Evaluating Urban Runoff Reduction Effects of Low Impact Development Practices under Different Rainfall Characteristics: Case Study of Tianjin, China ○Yu LI・Kenji TANAKA・Shigenobu TANAKA	16:00 C36 超過洪水に対する既設ダム治水機能評価と機能向上に向けた再開発手法の検討 ○倉橋実・角哲也
21日 午後	14:30 C31* 園部川における洪水氾濫解析 ○仲浩明・田中茂信・田中賢治・佐山敬洋	16:15 C37 組み合わせ最適化を用いた分布型流出モデルのパラメータの推定 ○松本和宏・宮本守・田中茂信・田中賢治
D 会場	14:45 C32* 都市域における小規模水理構造物に着目した雨水排水プロセスのモデル化 ○澤谷拓海・張浩・川池健司・中川一	16:30 C38 カラバクック氷河融解域における熱収支観測 ○田中賢治・Temur KHUJANAZAROV
E 会場	15:00 C33* 避難者間の経路障害情報の共有が水害避難行動に及ぼす影響 ○西川詞雲・堀智晴・野原大督	16:45 C39 雨量計観測データがアジアの高地の気候平均場の再現性に及ぼす影響 安富奈津子
ポスターセッション	15:15 C34* 事前氾濫シミュレーションとリアルタイム浸水情報の同化によるハザードマッピング ○小林亮祐・寶馨・佐山敬洋	17:00 C40 Nepal Landslide をもたらしやすい monsoon 循環 ○谷田貝亜紀代・鈴木隆太郎・安藤千晶・増田南波・千木良雅弘・Melanie FROUDE・David PETLEY
<休 憩>		

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……地盤 (I) 2月20日(火) 15:15 ~ 17:30	D 会場 S-143H
--	----------------

15:15 D01 2015年ゴルカ地震による斜面崩壊の発生場 条件 —ネパールゴルカ地域 ○檜垣大助・加藤京樹・鄒青穎	16:45 D07* 積雪地帯の堆積性軟岩を基盤とする地すべり 地における水文過程の季節的遷移 ○大澤光・松浦純生・松四雄騎・岡本隆・柴崎達也・ 平島寛行
15:30 D02 干渉 SAR で検出された斜面変動の形態的 特徴 ○中埜貴元・岩橋純子	17:00 D08 汀線沿いに位置する斜面の高頻度変位量観測 ○松浦純生・大澤光・土井一生・柴崎達也・ 土佐信一
15:45 D03 岩国地区国道2号沿い斜面の昭和期からの調 査記録と災害記録について ○岩橋純子・松四雄騎	17:15 D09* Mechanisms and Hazard Assessment of Rainfall-Induced Landslide Dams ○Tien V. PHAM・Kaoru TAKARA・ Kyoji SASSA
16:00 D04 表層崩壊発生予測の高度化と平成29年7月 九州北部豪雨に対する再現解析 松四雄騎	
16:15 D05 砂質モデル斜面で発生する崩壊と安定解析 (I) すべり面設定下での解析と地中水流の 影響 寺嶋智巳	
16:30 D06* 砂質モデル斜面で発生する崩壊と安定解析 (II) 崩壊のタイミングとすべり面の形成過程 ○福井宏和・寺嶋智巳	

A
会場

B
会場

C
会場

D
会場

20
日
午後

E
会場

ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	<p>一般講演……地盤（Ⅱ） 2月21日(水) 9:00～11:45</p>		<p>D 会場 S-143H</p>
B 会場	<p>9:00 D10* Monitoring Insights on the Co-seismic Responses of a Deep-seated Landslide ○Ning MA・Gonghui WANG・Toshitaka KAMAI・Issei DOI</p>	<p>10:30 D15* テフラ層の風化メカニズムと地震時のすべり面形成に関する研究 — 2016年熊本地震により発生したテフラ斜面の崩壊を例に— ○佐藤達樹・千木良雅弘・松四雄騎</p>	
C 会場	<p>9:15 D11* 柱状節理の発達した火成岩の組織・構造とそれに規制された球状風化メカニズム ○平田康人・千木良雅弘</p>	<p>10:45 D16 火山灰地域における地震時流動性地すべりポテンシャル評価に向けた地形・地質学的データの整備 ○鈴木毅彦・千木良雅弘</p>	
D 会場 21日 午前	<p>9:30 D12 付加体における重力斜面変形と深層崩壊発生に対する衝上断層の役割について ○荒井紀之・千木良雅弘</p>	<p>11:00 D17 2016年熊本地震による阿蘇谷北西部における亀裂の成因 —地盤構造との関連— ○土井一生・釜井俊孝・後藤聡・東良慶・大倉敬宏・村尾英彦・美馬健二</p>	
E 会場	<p>9:45 D13* スレート地帯における重力斜面変形及び大規模崩壊との関係 ○横山修・千木良雅弘</p>	<p>11:15 D18 LEAP-UCD-2017 Centrifuge Test at Kyoto University and an Analysis of the Re-liquefaction Response ○Ruben R. VARGAS TAPIA・Tetsuo TOBITA・Kyohei UEDA・Hikaru YATSUGI</p>	
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	<p>10:00 D14 南海トラフ巨大地震による大規模崩壊の地質・地形的特徴 ○千木良雅弘・勝見泰次</p>		<p>11:30 D19 遠心模型実験による天然ダムの決壊実験 王功輝</p>
	<p style="text-align: center;">< 休 憩 ></p>		

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>一般講演……総合防災（I） 2月20日（火）13：30～18：00</p>	<p>E会場 S-519D</p>
--	-----------------------

<p>13：30 E01* Statistical Text Analysis of Tweets Related to the 2015 Kinu River Flooding ○Yongxue SHI・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA</p> <p>13：45 E02 Information Sharing and the Roles of Pioneer Adopters in Disaster Preparedness ○Subhajyoti SAMADDAR・Hirokazu TATANO</p> <p>14：00 E03* Measuring Cyclone Aila Recovery Progress in Bangladesh from People's Perception: A Score Based Recovery Assessment Tool Applicable for Limited Data Environment ○Md Shibly SADIK・Hajime NAKAGAWA・Rajib SHAW・Md Rezaur RAHMAN・Kenji KAWAIKE・Gulsan Ara PARVIN・Kumiko FUJITA</p> <p>14：15 E04* Site Effect Analysis of Shallow Subsurface Structures at Mashiki Town, Kumamoto, Based on Microtremor Horizontal-to-Vertical Spectral Ratios ○Jikai SUN・Hiroshi KAWASE・Fumiaki NAGASHIMA</p> <p>14：30 E05* Stakeholder Input for a Common, Global, Comprehensive Risk Management Framework for Industrial Parks to Manage Risks from Natural Hazards ○Maria Camila SUAREZ・Ana Maria CRUZ</p> <p>14：45 E06 Education's Role in Protection of Afghan Women from Disasters ○Marina HAMIDZADA・Ana Maria CRUZ</p> <p style="text-align: center;"><休憩></p> <p>15：15 E07* Air Pollution in Ger Districts of Mongolia: Analysis of Gaps between Policy and Practice based on an Awareness and Risk Perception Survey ○Bonjun KOO・Ana Maria CRUZ</p>	<p>15：30 E08 災害ドローン救援隊 DRONEBIRD が目指す未来 古橋大地</p> <p>15：45 E09 救急医療と耐震工学とが連携した京都市の自然・人為災害に対する地域医療 BCP（事業継続計画）構築 ○下戸学・大鶴繁・趙晃済・堤貴彦・杉山治・相田伸二・人見真由・倉田真宏・牧紀男</p> <p>16：00 E10 津波によって移流拡散する石油の燃焼拡大性状を予測する火災シミュレーションモデルの開発 ○西野智研・今津雄吾</p> <p>16：15 E11* 地震学に関する理科教育の日墨比較研究 ○岩堀卓弥・中野元太・矢守克也</p> <p style="text-align: center;"><休憩></p> <p>16：45 E12* メキシコ・シワタネホと黒潮町の中学校合同津波避難訓練 ―シワタネホに見る効果― ○中野元太・杉山高志・岩堀卓弥・矢守克也・李勇昕</p> <p>17：00 E13 津波発生時における避難誘導に関する考察 ―メキシコシワタネホ地区での事例― ○畑山満則・上坂崇人</p> <p>17：15 E14* 避難行動のコラボラティブ・モデリングにおける津波避難シミュレーションの役割 ○中居楓子・畑山満則・矢守克也</p> <p>17：30 E15* 津波避難訓練の参加率に注目した防災教育の長期的効果の検証 ～高知県黒潮町を例に～ ○杉山高志・矢守克也</p> <p>17：45 E16 地域の食料品店による災害時の食料提供の可能性に関する基礎的研究 ○横松宗太・小谷仁務・伊藤秀行</p>	<p>A会場</p> <p>B会場</p> <p>C会場</p> <p>D会場</p> <p>E会場 20日午後</p> <p>ポスターセッション</p>
---	--	---

（注）○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	<p>一般講演……総合防災（Ⅱ） 2月21日（水）9：00～11：30</p>	<p>E会場 S-519D</p>
B 会場	<p>9：00 E17* 最適内挿法を用いた降雨流出氾濫モデルの河川水位データ同化法 ○三宅慎太郎・佐山敬洋・寶馨</p>	<p>10：45 E23* 拡散波動場理論の海外での適用～グルノーブル盆地の事例～ ○長嶋史明・川瀬博</p>
C 会場	<p>9：15 E18* 雨に対する児童の感覚に基づいた今後の防災教育について ○高橋孟紀・竹之内健介・矢守克也・市田兎太郎・宮田秀介・堤大三</p>	<p>11：00 E24 ネパールにおけるノンエンジニアド住宅の構造性能向上に対する投資対効果の検証 迫田恵子・○西嶋一欽</p>
D 会場	<p>9：30 E19* 防災教育推進校の教師への防災教育実践に関する意識調査－教科横断型の防災教育の構築に向けて－ ○岡田夏美・矢守克也</p>	<p>11：15 E25 防災・減災活動における民間企業の活用に向けた一考察 大西正光</p>
E 会場	<p>9：45 E20 洪水ハザードマップと体験施設を用いた高校生の防災学習の試み ○川池健司・中川一</p>	
21日 午前 ポスターセッション	<p>10：00 E21* トップダウンからボトムアップの防災へ～台湾の「土石流防災専員」を事例に～ ○Lee FUHSING・矢守克也</p>	
	<p>10：15 E22 ペイトソンの「学習」論に学ぶ－防災教育論の基礎づけのために－ 矢守克也</p>	
	<p><休憩></p>	

（注）○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

一般講演……地震・火山(Ⅲ) 2月21日(水) 14:00～15:45	E会場 S-519D
--	---------------

14:00 E26

**Rethinking Earthquake Prediction in Japan:
A Risk Communication Perspective**

○James D. GOLTZ・Evelyn ROELOFFS

14:15 E27

**Enabling Smart Retrofit to Enhance Seismic
Resiliency: Japan and NZ Case Studies**

Franciscus Asisi ARIFIN・Tadahisa TAKEDA・
JOSHUA MULLIGAN・Tim SULLIVAN・
○Masahiro KURATA・Gregory MACRAE

14:30 E28

**A Hypothesis of the Earthquake and Rain
Induced Megaslide in Pakistan-based on the
Undrained Dynamic Loading Ring Shear
Tests and Computer Simulation**

○Saima RIAZ・Kaoru TAKARA・Kyoji SASSA・
Muhammad BASHARAT

14:45 E29

**有限電気伝導度をもつ半無限媒質中の弾性波
動場から生じる電磁場**

山崎健一

15:00 E30

**For Satellite Gravimetry as a Global Precise
Earth's Sensor of Large Earthquakes, Water
Resources and Beyond: Solutions to Problems
Incorrectly Solved for 100 Years**

Peiliang XU

15:15 E31

**ドローン撮影と地震波形記録から解明された
飯山の地すべりの運動履歴**

○山田真澄・松四雄騎・加茂正人・松澤孝紀

15:30 E32

**兵庫県南部地震以降、六甲山は高くなったの
か?**

○橋本学・西村卓也・小澤拓・宗包浩志・飛田幹男

A
会場

B
会場

C
会場

D
会場

E
会場

21
日
午後

ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	<p>ポスターセッション 2月20日(火) 9:30 ~ 18:15 21日(水) 9:00 ~ 15:00</p> <p>ポスターセッション・コアタイム 2月21日(水) 12:00 ~ 14:00</p>		<p>ハイブリッドスペース</p>
B 会場	<p>P01 パッチ状不均質を含む断層の巨視的な変形 ー応力関係に関する数値摩擦実験 ○野田博之・堀高峰</p> <p>P02 地震波干渉法で探る地震発生と水の関係 片尾浩</p>	<p>P08 * 海底圧力計を用いた地殻変動の評価はどこまで可能か？ ーヒクラング沈み込み帯の場合ー ○村本智也・伊藤喜宏・稲津大祐・日野亮太・鈴木秀市・山下裕亮</p>	
C 会場	<p>P03 富士山における火山防災担当者研修プログラム案 ○吉本充宏・藤井敏嗣・川南結・新堀賢志・金野慎・中田節也・井口正人</p>	<p>P09 * Coseismic and Postseismic Deformation of the 2016 Central Tottori Earthquake and Its Slip Model ○Angela Del Valle MENESES GUTIERREZ・Takuya NISHIMURA・Manabu HASHIMOTO</p>	
D 会場	<p>P04 熊本市花岡山近傍で観測された地震動特性とその表層地盤構造 ○是永将宏・津野靖士・地元孝輔・山中浩明</p> <p>P05 斜面崩壊による地震動の特徴と崩壊発生メカニズム ー 2017年の事例ー ○土井一生・前田拓人・釜井俊孝・王功輝</p>	<p>P10 * 山陰地方の地震帯直下下部地殻における地震波速度構造 ○津田寛大・飯尾能久・澁谷拓郎</p> <p>P11 * 測地データのクラスター分析による全世界のプレート分割 ○岡崎智久・高橋温志・深畑幸俊</p>	
E 会場	<p>P06 東京湾西岸部における周期2～3秒の地震動特性の空間変動評価のための微動観測 ○地元孝輔・津野靖士・三宅弘恵・神野達夫・重藤迪子・高井伸雄・松島信一・是永将宏・山中浩明・佐藤浩章・川瀬博・瀬瀬一起</p>	<p>P12 * 直流法による岩石試料の比抵抗構造イメージング手法の構築 ○鈴木健士・吉村令慧・山崎健一・大志万直人</p> <p>P13 * 熊本県西原村周辺における強震動シミュレーションのための地盤構造推定に関する研究 ○小林弘和・松島信一</p>	
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	<p>P07 * 上盤側プレートの違いによる沈み込む海洋プレートの座屈現象の違い ○菊地和平・深畑幸俊</p>	<p>P14 平成28年熊本地震における御船町・嘉島町の地震動について 豊増明希・○後藤浩之・澤田純男・高橋良和</p>	

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

P15

2016年熊本地震本震時の長周期速度パルス地震動の生成メカニズム

○倉橋奨・入倉孝次郎・岩田知孝・浅野公之

P16

日向灘地殻活動総合観測線による地殻変動連続観測

○寺石眞弘・小松信太郎・山崎健一・山下裕亮・澁谷拓郎

P17

近畿地方における歪変化

森井互

P18

南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域の構造研究(4)

○澁谷拓郎・寺石眞弘・小松信太郎・山崎健一・山下裕亮・三浦勉・長岡愛理・大倉敬宏・吉川慎・井口正人・為栗健・園田忠臣

P19

奈良盆地の堆積層構造のモデル化

○関口春子・浅野公之・岩田知孝

P20

エチオピア・アファール凹地、海洋底拡大軸域での地球電磁気学的探査

○石川尚人・吉村令慧・Tesfaye KIDANE・加々島慎一・東野伸一郎・Ameha A. MULUNEH・北川桐香・望月伸竜・乙藤洋一郎・小木曾哲

P21

機械学習を用いた稠密地震動予測の試み

栗間淳・後藤浩之・○澤田純男

P22

エチオピア・アファールリフト南部における広帯域MT観測

○吉村令慧・石川直人・Tesfaye KIDANE・Ameha A. MULUNEH・加々島慎一・北川桐香

P23

粒子フィルタによるボアホール地震記録を用いた低周波微動検出の試み

宮澤理稔

P24

「シン・ゴジラ」における地震学の存在の軽さ：地震学の広報と南海トラフ地震に関連する情報

加藤護

P25

桜島火山における精密水準測量(2017年11月)

○山本圭吾・松島健・吉川慎・井上寛之・手操佳子・園田忠臣・波岸彩子・堀田耕平・市村美沙・森田花織・小池碧・古賀勇輝・渡邊早姫・大倉敬宏

P26

桜島火山における降下火山灰粒子の粒径分布の検討

○味喜大介・井口正人・山元孝広

P27

南九州の火山における小型Xバンド偏波レーダーの展開と噴火観測事例と地震動との比較

○中道治久・井口正人・下村誠・竹中悠亮

P28

アンケートによる火山防災協議会に参画する火山専門家の活動状況調査

○石峯康浩・吉本充宏・井口正人・日本火山学会火山防災委員会

P29

中立に近い大気境界層での風速変動

堀口光章

P30

気象庁レーダーを用いた日本の竜巻発生可能性の分布

○西藤大輝・佐々浩司

P31

ドローンによる機動的な大気環境観測手法の開発

○佐々木寛介・志村智也・辻本浩史・井上実

P32

ドローンと熱画像を用いた河川における伏流水湧出場の検出

○小林草平・角哲也・竹門康弘

A
会場

B
会場

C
会場

D
会場

E
会場

ポ
ス
タ
ー
セ
ッ
シ
ョ
ン

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

A 会場	<p>P33 ハザードマップへの歴史災害地点の重ね合わせ：宇治市と朝倉市での例 ○加納靖之・竹之内健介・矢守克也</p>	<p>P41 * インドネシア・スマトラ島バタンハリ川流域を対象にした長期連続の降雨流出・洪水氾濫解析 ○山本浩大・佐山敬洋・寶馨</p>
B 会場	<p>P34 適切な避難のための土砂災害情報の高度化並びに提供方法の検討 ○中谷加奈・山野井一輝・長谷川祐治・宮田秀介・藤田正治</p>	<p>P42 Laboratory Experiments on the Three-dimensional Flow in a Junction Manhole ○Hao ZHANG・Tasuku MATSUDA・Taku FUJIWARA・Kenji KAWAIKE・Koji SASSA</p>
C 会場	<p>P35 小学校児童保護者を対象とした津波防災意識調査 ―白浜町西富田小学校での調査― ○馬場康之・小田裕矢・石垣泰輔・戸田圭一</p>	<p>P43 Current Progress of Development of an Integrated Sediment Disaster Simulator and Application in the Brantas River Basin, Indonesia ○Kurdianto I. RAHMAN・Dian SISINGGIH・Didik ARDIANTO・Fahmi HIDAYAT・Kazuki YAMANOI・Masaharu FUJITA</p>
D 会場	<p>P36 2017年低気圧及び台風通過による白良浜海岸の海浜変形 ○水谷英朗・馬場康之・久保輝広</p>	<p>P44 流水中の人体が受ける流体力に関する実験的研究 ○戸田圭一・岡本隆明・當麻泰史</p>
E 会場	<p>P37 * 土砂動態モデルを用いた山地溪流におけるハビタットの動的变化に関する研究 ○村上秀香・山野井一輝・藤田正治</p>	<p>P45 バンドル型水制群による浮遊砂の堆積機能促進のための形状に関する実験的研究 ○長谷川祐治・対修一・橋崎卓・三浦勉・川池健司・中川一</p>
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	<p>P38 * Numerical Simulation on Sediment and Water Runoff in the Ayeyarwady River Watershed ○Myo THANDAR・Kazuki YAMANOI・Masaharu FUJITA</p>	<p>P46 日本における日降水グリッドデータの捕捉損失の補正 ○増田南波・谷田貝亜紀代・上口賢治・田中賢治・千木良雅弘</p>
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	<p>P40 * Polder to De-polder: an Innovative Sediment Management in Tidal Basin in the Southwestern Bangladesh ○Rocky TALCHABHADEL・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Md Shibly SADIK</p>	<p>P47 * A System to Support Decision Makers in Rainfall-induced Landslide Hazard Early Warning in Halong City-Vietnam ○Nguyen Duc HA・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA・Kyoji SASSA</p>

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

<p>P48 *</p> <p>Evidences of Bedrock Groundwater Control of Sediment Cover Moisture and Runoff Generation Processes in a Watershed Underlaid by Fractured Bedrock</p> <p>○Cristobal PADILLA · Ken'ichirou KOSUGI · Naoya MASAOKA · Yuki MATSUSHI</p>	<p>P56 *</p> <p>基盤岩の風化様式に制約される土層の形成と輸送の速度</p> <p>○渡壁卓磨 · 松四雄騎 · 松崎浩之</p>	<p>A 会場</p>
<p>P49 *</p> <p>Valley Slope Response to Fluvial Incision in the Upstream Minjiang River, Western Sichuan, China</p> <p>○Siyuan ZHAO · Masahiro CHIGIRA</p>	<p>P57 *</p> <p>Assessing Citizens' Communication Behaviour towards Na-Tech Risk Information Disclosure in the Japanese Context</p> <p>○Dimitrios TZIOUTZIOS · Ana Maria CRUZ</p>	<p>B 会場</p>
<p>P50 *</p> <p>日本海側新第三系堆積岩地域における山地解体過程と深部流体の関係</p> <p>○西山成哲 · 千木良雅弘 · 鈴木浩一 · 渡部直喜</p>	<p>P58 *</p> <p>Modeling Risk Communication Effects on Risk Perception and Protective Actions in Communities during a Na-Tech Accident</p> <p>○Devina K. ARIYANTA · Ana Maria CRUZ</p>	<p>C 会場</p>
<p>P51 *</p> <p>長期的かつ過度な人為インパクトを受けた花崗岩丘陵の流域空間平均侵食速度</p> <p>○太田凌嘉 · 松四雄騎</p>	<p>P59 *</p> <p>IoT を用いた土砂災害に強いまちづくり —京都市山科区安朱小学校区を事例として—</p> <p>○上山遥路、畑山満則</p>	<p>C 会場</p>
<p>P52 *</p> <p>泥岩を挟在する砂岩の風化メカニズム —微量に含まれる方解石セメントの溶解に始まる連鎖的風化—</p> <p>○松澤真 · 千木良雅弘</p>	<p>P60 *</p> <p>緊急支援物資輸送に関する災害協定の運用に関する考察</p> <p>○西脇文哉 · 畑山満則 · 伊藤秀行</p>	<p>D 会場</p>
<p>P53 *</p> <p>テクトニクスの変化に対する山地地形の過渡的応答について</p> <p>○太田義将 · 松四雄騎</p>	<p>P61 *</p> <p>Estimation of 3-D Basin Structure Model for Strong Motion Simulation in Sagaing City, Myanmar</p> <p>○Phyoe Swe AUNG · Hiroshi KAWASE · Shinichi MATSUSHIMA · Tun NAING</p>	<p>D 会場</p>
<p>P54</p> <p>Statistical Distributions and Pseudostatic Analysis of Earthquake-induced Shallow Landslides in Hachinohe: a Case Study of the 1968 M7.9 Tokachi-Oki Earthquake, Japan</p> <p>○Sixiang LING · Masahiro CHIGIRA</p>	<p>P62 *</p> <p>Effect of Narrow Pass on Navigable Channel Characteristics in Braided Stream</p> <p>○TIN TIN HTWE · Yuji HASEGAWA · Hiroshi TAKEBAYASHI · Masaharu FUJITA</p>	<p>E 会場</p>
<p>P55 *</p> <p>岩盤穿入蛇行河川の発達に関する侵食速度、土砂生産速度による定量的アプローチ</p> <p>○辻哲也 · 松四雄騎</p>	<p>P63</p> <p>Qualitative Survey on Heatwave Perception and Private and Public Heatwave Management Strategies in France</p> <p>Florence LAHOURNAT</p>	<p>ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン</p>

(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。

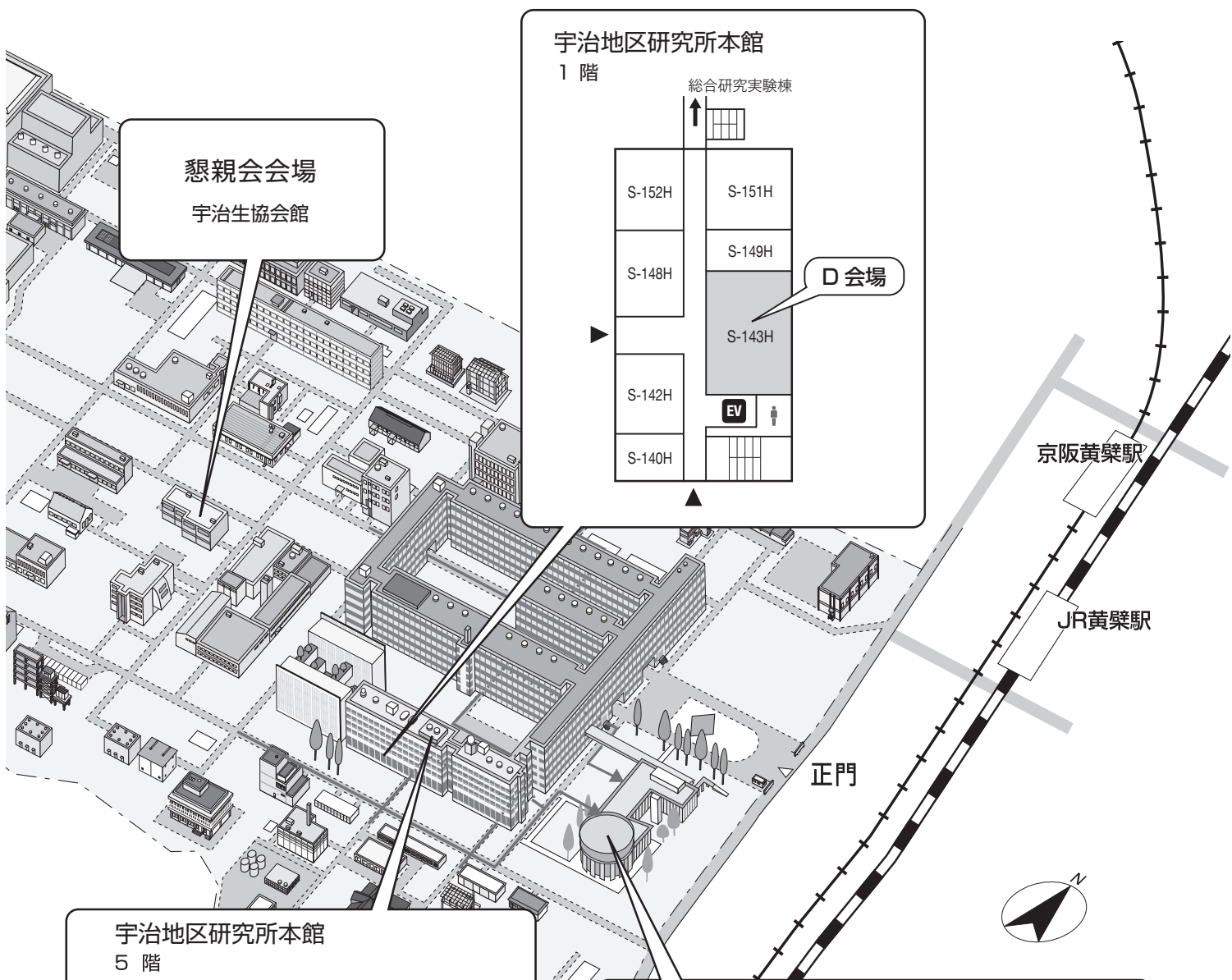
A 会場
B 会場
C 会場
D 会場
E 会場
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン

P64 *

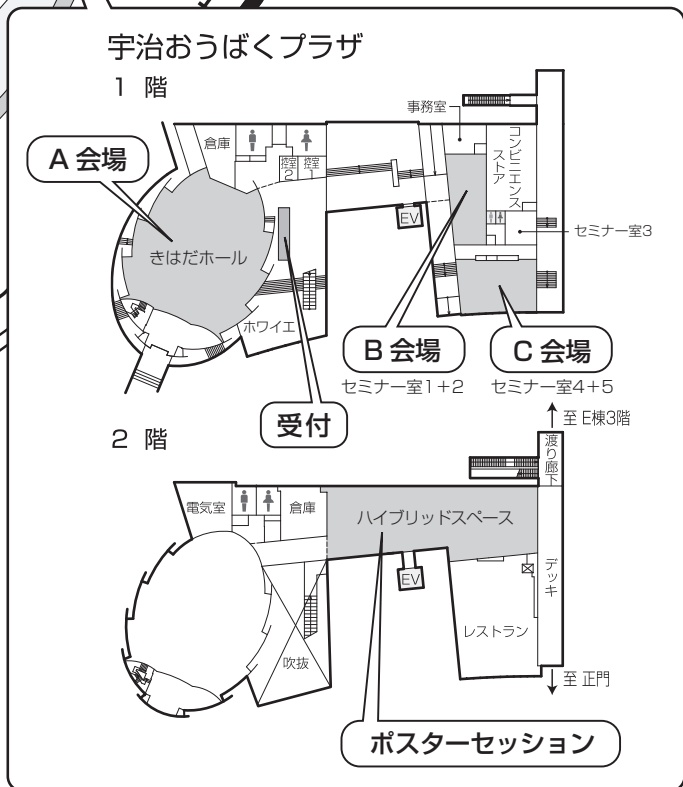
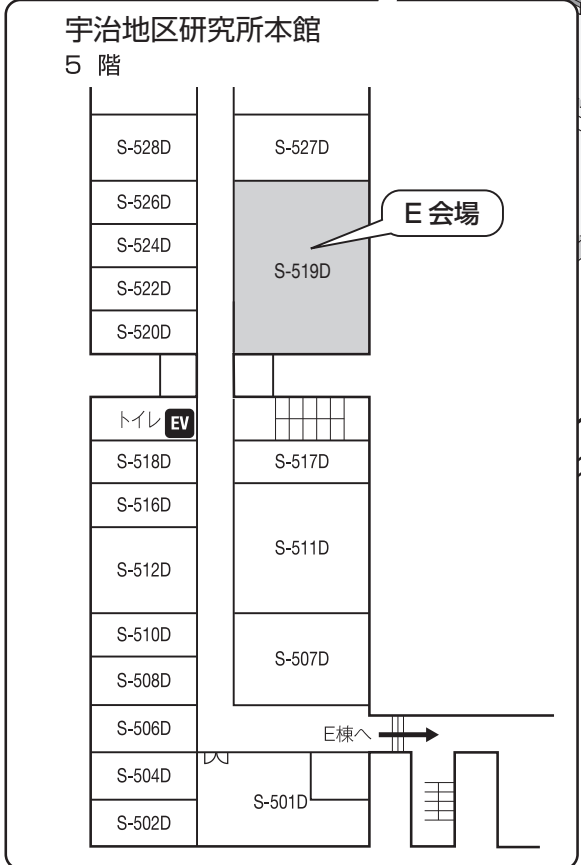
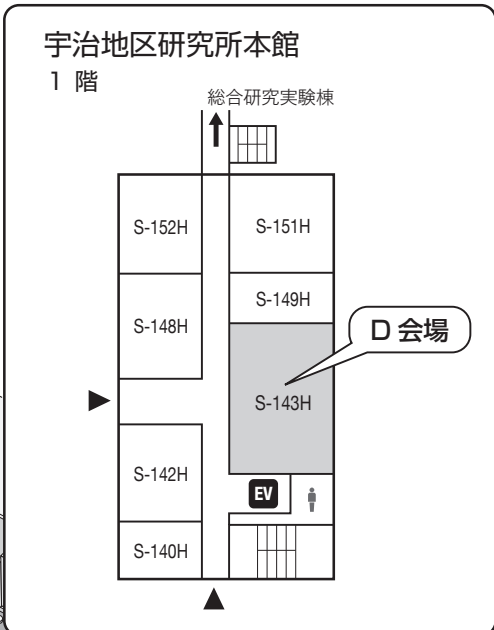
Statistical Analysis of the Transport and
Deposition Patterns of Volcanic Emissions
from the Sakurajima Volcano

○Alex POULIDIS · Tetsuya TAKEMI ·
Masato IGUCHI

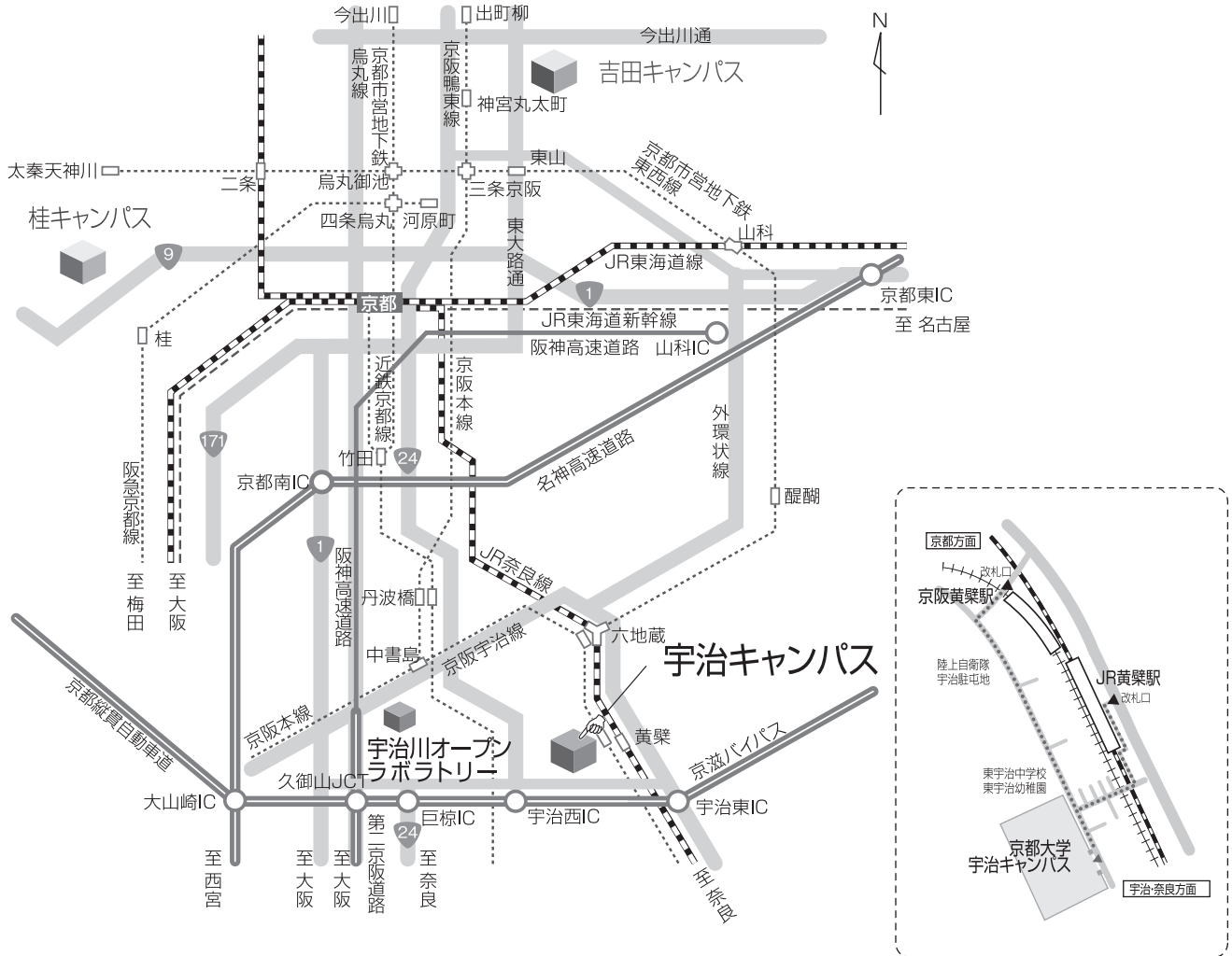
(注) ○は発表者を、発表番号右上の*は、優秀発表賞対象者を示します。



懇親会会場
宇治生協会館



会場へのアクセス



～ 優秀発表賞授賞式・懇親会のご案内 ～

日時：2018年2月21日(水) 18:00～20:00

場所：宇治生協会館 (23ページの会場案内図をご参考ください)

[教職員・学生の皆さまへ]懇親会の会場への入場には、チケットが必要です。忘れずにご持参ください。

[問合せ先] 京都大学防災研究所 広報出版企画室 0774 (38) 4640 E-mail: dpri-ksk@dpri-kyoto-u.ac.jp